

## 第1回測位衛星システム利用検討会 議事要旨

1. 日 時 平成22年10月12日(火) 13:30~14:20

2. 場 所 合同庁舎3号館4階 国土交通省省議室

### 3. 出席者

津川国土交通大臣政務官(座長)、大臣官房技術総括審議官、大臣官房技術審議官、大臣官房技術参事官、総合政策局長、河川局長(代理)、道路局長(代理)、鉄道局長(代理)、自動車交通局長(代理)、海事局長(代理)、港湾局長(代理)、航空局長(代理)、政策統括官、国土地理院長、観光庁次長(代理)、気象庁次長、海上保安庁次長

#### 【プレゼンテーション】

(独)宇宙航空研究開発機構

本間 正修 宇宙利用ミッション本部長・理事

寺田 弘慈 宇宙利用ミッション本部 準天頂衛星システムプロジェクトチーム プロジェクトマネージャ

### 4. 議事概要

#### (1) 開会

開会にあたり、津川国土交通大臣政務官より挨拶。

#### (2) 宇宙開発戦略本部「準天頂衛星に関するプロジェクトチーム」の動向等について

参考資料1、参考資料2により事務局から説明が行われた。

#### (3) 「測位衛星システム利用検討会」の設置及び今後の進め方について

資料1、資料2及び資料3により事務局から説明が行われ、各資料について了承された。

#### (4) (独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)プレゼンテーション

資料4によりJAXAからプレゼンテーションがあり、その後質疑応答等が行われた。主な内容は以下のとおり。

○測位衛星の安全保障上の必要性は分かるものの、測位精度が良くなることにより国土交通分野において利用価値がどのように向上するか、費用に見合う価値であるかを考えて検討していく必要がある。

○準天頂衛星技術は日本でしか使えないものではなく、外国でも利用可能な技術か。

→ 準天頂衛星は、測位の需要が多い地域にサービスを提供する衛星であり、需要が殆どない北極・南極を外して日本やオーストラリア等でサービスを展開することを目指して開発された。今回の準天頂衛星技術の成果は、こうしたサービスを期待する外国にも提案できるもの。(JAXA)

以上